

令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
5	8	2	3	環境保全	生活環境の整備
実施計画事業名					
害虫防除対策事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
4	01	05	02	害虫防除対策事業	
担当課・係等					
環境保全課 クリーン推進係					

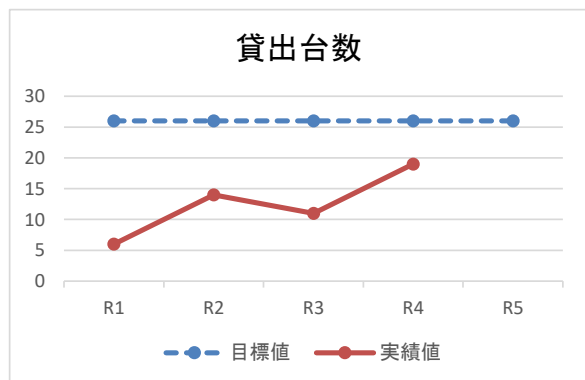
実施計画整理番号	
508020301	
総合戦略整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	自転車歩行者道路(豊田川)沿いの桜の木の害虫駆除、自治会への消毒機の貸し出しや衛生指導を行い、適正な環境づくりを目標とする。	・自転車歩行者道路(豊田川)沿いの桜の木の害虫駆除 ・自治会等への消毒機の貸し出し ・公共施設の蜂の巣駆除
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	自転車歩行者道路(豊田川)沿いの桜の木の害虫駆除、自治会への消毒機の貸し出しや衛生指導を行い、害虫の発生を抑制することにより、施策「生活環境の整備」に寄与する。	

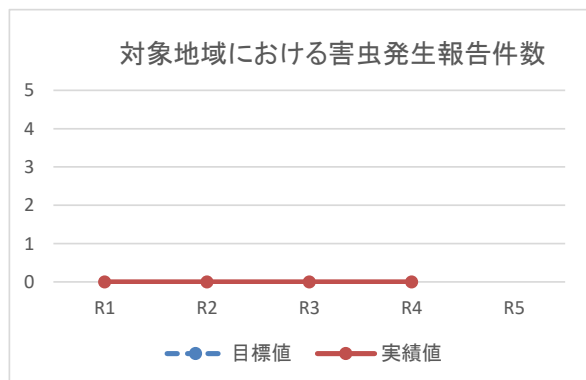
投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	861	861	587	509	401	353			
	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	861	861	587	509	401	353			
	人工数	人	1.2			1.2					
	人件費	千円	7,186			6,714					

手段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
自転車歩行者道路(豊田川)沿いの桜の木の消毒作業及び自治会への消毒機の貸し出しを行う	消毒回数	回	2	2	2	2
		実績値	2	2	2	
	貸出台数	台	33	33	33	33
		実績値	14	11	122	
成果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
生活環境の整備を図るとともに市民等による適正な環境づくりを促進する。	対象地域における害虫発生報告件数	件	発生を防ぎます	発生を防ぎます	発生を防ぎます	発生を防ぎます
		実績値	0	0	0	

活動指標の動向



成果指標の動向



令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
5	8	2	3	害虫防除対策事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
4	01	05	02	害虫防除対策事業

整理番号
508020301

課題抽出 (CHECK)

活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
<ul style="list-style-type: none"> ・自転車歩行者道路(豊田川)沿いの桜の木の害虫の消毒回数 2回 ・自治会への消毒機の貸し出し数 延べ122台、11団体 ・害虫発生報告件数 0件 		
必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
B: 必要性が認められる	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
総合評価		
A: 十分な成果を挙げた(目標・目的を達成している)		
分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
<ul style="list-style-type: none"> ・自転車歩行者道路(豊田川)沿いの桜の木は、害虫の発生を抑制し、十分な成果を挙げることができた。 ・自治会に消毒機の貸し出しを行うことで、害虫の発生を抑制し、十分な成果を挙げることができた。 		

今後の方向性 (ACTION)

事業の方向性	改善・改革の手法
B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要	③連携・協働の推進
課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き自転車歩行者道路(豊田川)沿いの桜の木の害虫の駆除を実施し、生活環境の保全を図る。 ・引き続き自治会等に消毒機の貸し出しを行うことにより、生活環境の保全に努める。 	
企画政策課の評価	評価理由
B	<ul style="list-style-type: none"> A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当 <p>適正な環境づくりの促進に一定の成果を挙げていると認められる。引き続き、取組の効果的な情報発信を図ることにより、市域全体で環境意識の向上が図られるよう努めていただきたい。</p>

令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
5	8	2	3	環境保全	生活環境の整備
実施計画事業名					
環境保全対策事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
4	01	07	01	環境保全対策事業	
担当課・係等					
環境保全課環境対策係					

実施計画整理番号	
508020302	
総合戦略	
整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか) 水質・騒音や土地の埋立てなどを監視し、諸問題の発生抑制に努めるとともに、公害発生の防止のため事業者の自主監視を促進することで、身近な生活環境の保全を図る。	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか) 河川や地下水等の水質、主要幹線道路の自動車騒音、土地の埋立ての状況を監視する。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	河川や地下水等の水質、道路交通騒音、土地の埋立てなど、身近な生活環境を監視し、諸問題の発生の抑制を図ることで、施策「生活環境の整備」に寄与する。	

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	1,964	1,964	1,495	1,964	1,846	1,507			
	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	1,964	1,964	1,495	1,964	1,846	1,507			
	人工数	人	1.20			1.20					
	人件費	千円	9,076			9,076					

手段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
河川や地下水等の水質、道路交通騒音、土地の埋立ての状況を監視する。		目標値				
		実績値				
		目標値				
		実績値				
成果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
諸問題の発生を抑制し、身近な生活環境の保全を図る。		目標値				
		実績値				
活動指標の動向			成果指標の動向			

令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
5	8	2	3	環境保全対策事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
4	01	07	01	環境保全対策事業

整理番号
508020302

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な生活環境の現況を把握するため、各種調査を実施した。 河川水(16ヶ所)は、10ヶ所でBOD環境基準を満たしていた。 地下水(17ヶ所)は、16ヶ所で環境基準を満たしていた。 工場排水(4ヶ所)は、1ヶ所で基準超過があり、事業所に適正管理を求めた。 道路交通騒音(2ヶ所)は、非近接空間及び近接空間で昼間、夜間ともに環境基準以下であった。 		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	B: 必要性が認められる	B: 有効性が認められる	B: 効率性が認められる
	総合評価		
<p style="font-size: 1.2em; font-weight: bold;">B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)</p>			
分析・評価(活動してどのような課題があったか)			
<ul style="list-style-type: none"> ・河川水6ヶ所でBOD環境基準を上回る状況であった。生活排水の影響と考えられるため、引き続き浄化槽対策事業等の推進により、河川の水質保全を図る必要がある。 ・地下水1ヶ所、工場排水1ヶ所で基準超過が測定されたことから、調査を継続して監視する必要がある。 			

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性		改善・改革の手法	
	B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要		⑤更なる事業の推進	
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)			
	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な生活環境の保全を図るため、監視を継続するとともに、各種調査結果等の周知により環境問題について意識啓発を図る。 			
	企画政策課の評価		評価理由	
B		<ul style="list-style-type: none"> A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当 <p>公害等諸問題の発生抑制に一定の成果を挙げていると認められる。引き続き、市民等へ各種調査結果を周知することで環境問題についての意識啓発につなげていただきたい。</p>		

令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
5	8	3	1	環境保全	地球温暖化対策の推進
実施計画事業名					
新エネルギー利活用促進事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
4	01	07	04	住宅用省エネルギー設備等促進事業	
担当課・係等					
環境保全課環境対策係					

実施計画整理番号	
508030101	
総合戦略整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何をを行うか)
	家庭におけるエネルギーの安定的な供給、エネルギー利用の効率化・最適化を図り、地球温暖化防止に資する。	<ul style="list-style-type: none"> 市内の住宅に住宅用省エネルギー設備等を設置する市民に対し、千葉県の補助基準の範囲内で補助金を交付する。 補助制度の利用促進のための周知を行う。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	

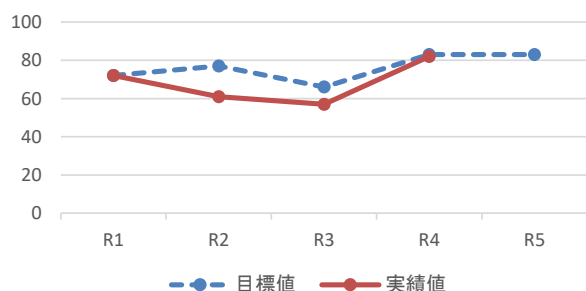
家庭においても省エネの取り組みなど地球温暖化対策を推進する必要がある。補助金の交付により、住宅用省エネルギー設備等の設置を促進し、家庭からの二酸化炭素排出量の抑制を図り、施策「地球温暖化対策の推進」に寄与する。

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
	事業費	千円	7,100	7,100	6,235	7,500	9,500	7,685			
財源内訳	国補助	千円					2,500	750			
	県補助	千円	5,600	5,600	4,735	6,000	6,350	6,167			
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	1,500	1,500	1,500	1,500	650	768			
人工数	人		1.00			1.00					
人件費	千円		7,563			7,563					

手段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
住宅用省エネルギー設備等を設置する市民に補助金を交付するとともに、利用促進のための周知を行う。	住宅用省エネルギー設備等の補助件数	件	77	66	83	83
		実績値	61	57	82	
成果	成果指標	kg	105,786	85,711	81,286	81,286
			実績値	68,153	65,657	90,614

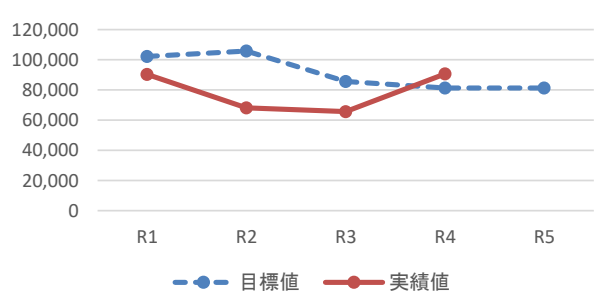
活動指標の動向

住宅用省エネルギー設備等の補助件数



成果指標の動向

排出抑制された二酸化炭素の量



令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
5	8	3	1	新エネルギー利活用促進事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
4	01	07	04	住宅用省エネルギー設備等促進事業

整理番号
508030101

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・脱炭素に資する住宅用設備等の導入について、82件を支援した。 (太陽光発電システム5件、家庭用燃料電池システム(エネファーム)18件、リチウムイオン蓄電システム48件、窓の断熱改修4件、電気自動車5件、V2H充放電設備2件) ・広報やウェブサイト等を通して、補助制度や家庭でできる地球温暖化対策の取り組みについての周知を図った。 		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
	総合評価		
B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)			
分析・評価(活動してどのような課題があったか)			
<ul style="list-style-type: none"> ・脱炭素に資する住宅用設備等の導入ニーズの増加が見込まれるため、補助を継続していく必要がある。 ・補助制度の利用促進を図るため、引き続き周知を図る必要がある。 ・脱炭素に資する住宅用設備等の導入補助により、市内における二酸化炭素の排出量削減や電力の強靱化に一定の成果を挙げている。 			

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性	改善・改革の手法
	B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要	⑤更なる事業の推進
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、導入ニーズを把握し適切に補助を実施するとともに、広報・市公式ウェブサイト・SNS等を活用して制度の周知を図っていく。 	
	企画政策課の評価	評価理由
B	<ul style="list-style-type: none"> A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当 <p>市民のエネルギー利用の効率化・最適化を促進することで、市内の二酸化炭素の排出量削減に資する事業と認められる。引き続き、補助制度の利用促進のためのより効果的な周知を図るとともに、更なる市民等の地球温暖化防止に対する意識向上に努めていただきたい。</p>	

令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
5	1	2	1	土地利用	良好な景観形成の推進
実施計画事業名					
景観計画推進事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
7	03	01	09	景観推進事務費	
担当課・係等					
都市計画課計画係					

実施計画整理番号	
501020101	
総合戦略整理番号	32102 32306

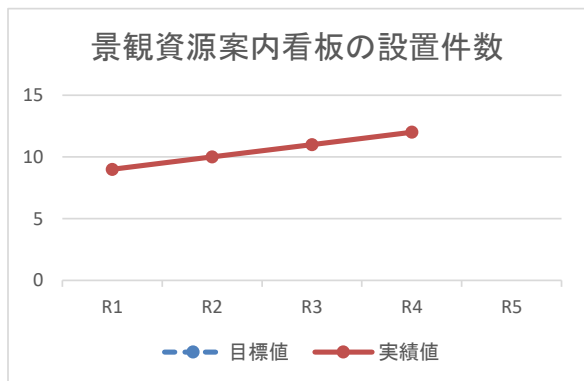
事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何をを行うか)
	本市の景観が、憩い、潤い、安らぎ、趣きがあるふるさと景観として、市民をはじめ多くの人に知ってもらい、愛着がもてる状態を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> ・景観資源52箇所について、市民に関心を高めてもらうために案内看板を積極的に設置していく。 ・「茂原市わが街ガイド」を活用し景観資源の情報を発信する。 ・茂原市都市計画マスタープラン推進市民会議と協働で景観資源バスツアーを実施する。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	

景観資源の案内看板等による情報発信や景観資源バスツアーを開催することで、市民の本市への愛着を醸成させ、ひいては施策「良好な景観形成の推進」に寄与していく。

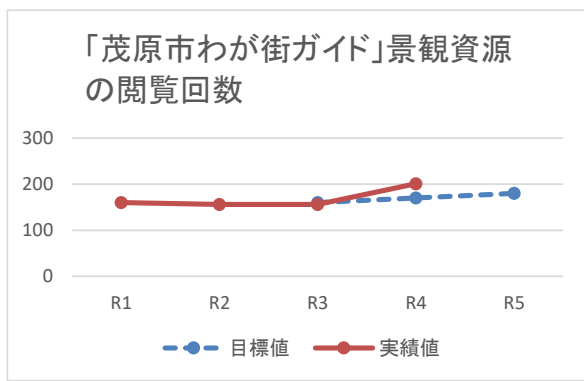
投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
	事業費	千円	298	298	194	298	298	250			
財源内訳	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	298	298	194	298	298	250			
人工数	人		1.2		1.2						
人件費	千円		9,075		9,075						

手段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
景観資源案内看板の設置や「茂原市わが街ガイド」の景観資源マップを活用し、本市の魅力を発信する。	景観資源案内看板の設置件数(累計)	件数	10	11	12	
	「茂原市わが街ガイド」を活用した景観資源の情報発信(更新回数)	回数			10	10
成果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
景観資源の存在を市民に広め、関心を高めてもらうとともに、ふるさと景観として愛着を持ってもらう状態を目指す。	「茂原市わが街ガイド」の景観資源の閲覧回数	回数	156	160	170	180

活動指標の動向



成果指標の動向



令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
5	1	2	1	景観計画推進事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	03	01	09	景観推進事務費

整理番号
501020101

課題抽出 (CHECK)

活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
<ul style="list-style-type: none"> ・景観資源案内看板を1箇所(藻原寺)設置した。その結果、52箇所中12箇所が設置済みとなった。 ・景観審議会を開催し、景観づくり活動団体の認定を行った。(茂原公園自然愛好会) ・「茂原市わが街ガイド」の景観資源マップで、本市の魅力の周知に努めた。 		
必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
A: 必要性が高い	B: 有効性が認められる	B: 効率性が認められる
総合評価		
B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)		
分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
<ul style="list-style-type: none"> ・景観資源案内看板の効果や地権者の承諾を考慮すると、設置箇所数が約20あり、設置を順次進めて行く必要がある。 ・「茂原市わが街ガイド」の景観資源の閲覧回数を増やすための方策を考える必要がある。 ・景観資源52箇所は、第2次茂原市マスタープラン推進市民会議(平成21年11月～平成24年10月)において選定されたが、選定当時と現在の状況が異なっているものが数箇所あることから、見直しを行う必要がある。 		

今後の方向性 (ACTION)

事業の方向性	改善・改革の手法
B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要	⑤更なる事業の推進
課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
<ul style="list-style-type: none"> ・景観資源案内看板について、設置の効果検証や地権者の意向把握が必要である。 ・「茂原市わが街ガイド」の景観資源の閲覧回数を増やすために、市広報・ウェブサイト・フェイスブック等を活用し周知を図る。 ・第6次茂原市マスタープラン推進市民会議(令和5年度設置予定)において景観資源52箇所を見直すとともに、景観資源マップやポスターの修正を行う。 	
企画政策課の評価	評価理由
B	<ul style="list-style-type: none"> A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当 <p>市民等の本市への愛着心の醸成を目的とした事業だが、現状では愛着心の向上について判断ができない。引き続き、活動についての周知を図るとともに、効果検証の手法を調査・研究いただきたい。</p>

令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
5	1	3	1	土地利用	地籍の適正管理
実施計画事業名					
地籍調査事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
7	03	01	12	地籍調査事務費	
担当課・係等					
土木管理課・用地管理係					

実施計画整理番号	
501030101	
総合戦略	
整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか) 行政区域面積から土地区画整理事業実施区域を除いた約90km ² の約18万筆の土地について、地籍簿・地籍図を作成することで、土地境界をめぐるトラブルの未然防止、各種公共事業の効率化、災害復旧の迅速化、課税の適正化等が図られる。	主な活動内容(目標を達成するために何をを行うか) 一筆ごとの土地について、所有者・地番・地目の調査並びに境界及び地籍に関する測量を市内30工区に分け、計画的に実施する。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	地籍調査に取り組み、土地の所有者等を調査するとともに、測量を実施することにより、境界及び面積の確定に努め、ひいては施策「地籍の適正管理」に寄与する。	

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	15	15	15	15	15	15			
	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	15	15	15	15	15	15			
	人工数	人	0.25			0.15					
	人件費	千円	1,891			1,891					

手 段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
地籍調査実施に向けた関係機関協議を行う。		目標値				
		実績値				
		目標値				
		実績値				
成 果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
市内の約90万m ² 、約18万筆の土地の地籍簿・地籍図を作成することで、土地境界をめぐるトラブルの未然防止、各種公共事業の効率化、災害復旧の迅速化、課税の適正化等が図られる。		目標値				
		実績値				
活動指標の動向			成果指標の動向			

令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
5	1	3	1	地籍調査事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	03	01	12	地籍調査事務費

整理番号
501030101

課題抽出 (CHECK)

活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)

- ・千葉県国土調査推進協議会負担金を納入した。
- ・長生郡市地籍調査協会と事業実施に向けた準備作業及び、スケジュール等について打合せを行った。

必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
B: 必要性が認められる	B: 有効性が認められる	B: 効率性が認められる

総合評価
C: 成果を挙げる事ができなかった(目標・目的を達成していない)

分析・評価(活動してどのような課題があったか)

- ・長生郡内では、茂原市以外の町村は、地籍調査を開始し、着実に進めている。
- ・事業実施に向けては専任となる人員の確保が必要となる。
- ・国、県の動向を注視していく。

今後の方向性 (ACTION)

事業の方向性	改善・改革の手法
B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要	⑤更なる事業の推進

課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)

- ・目標を達成するため、少しでも早く事業に着手出来るよう、国、県の動向を注視していく。

企画政策課の評価	評価理由
C A: 計画どおり事業継続が 適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検 討が必要 D: 事業終了が適当	地籍の適正管理に資する事業と判断できるが、事業期間が長期に渡り、事業費も相当額必要なことから、他の事業との優先順位を考慮し今後の方向性を検討するとともに、引き続き、効率的な手法については情報収集に努めていただきたい。

令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
5	2	1	1	市街地整備	秩序ある市街地整備の推進
実施計画事業名					
茂原駅前通り地区土地区画整理事業					

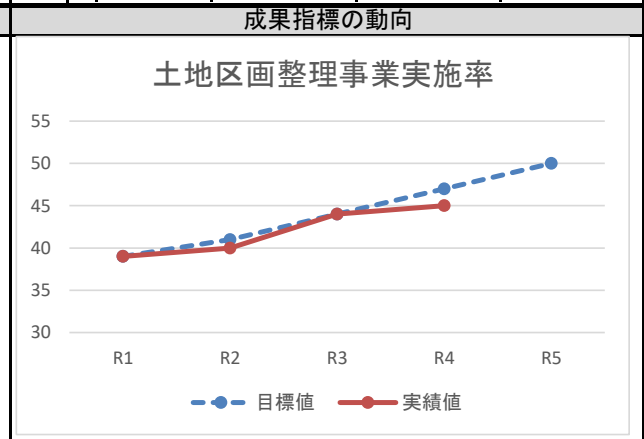
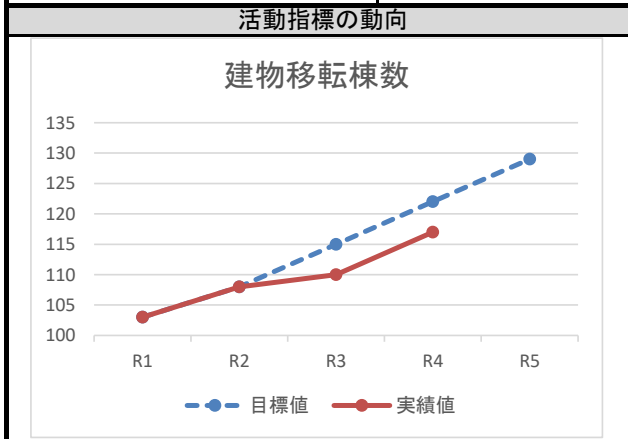
予算科目					
款	項	目	事	事業名	
7	03	04	01	茂原駅前通り地区土地区画整理事業	
担当課・係等					
都市整備課区画整理係					

実施計画整理番号	
502010101	
総合戦略整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何をを行うか)
	土地区画整理事業施行中の茂原駅前通り地区については、中心市街地としての商業・業務環境及び住環境の整備を継続的に進めることで市街地の活性化が図られることを目的とする。	<ul style="list-style-type: none"> ・道路整備により、交通の利便性を向上させ、消防活動を容易とする。 ・地域の活性化および宅地の利用増進を図る。 ・権利者と良好な関係を築き、移転補償や道路整備を円滑に進める。 ・集客力のある複合施設等商業核施設の事業化に向けて調査・研究を進める。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
茂原駅前通り地区土地区画整理事業を進めることで、中心市街地としての商業・業務環境の整備による商店街の活性化と安全で快適な住環境の形成を図り、ひいては施策「秩序ある市街地整備の推進」に寄与する。		

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	389,617	326,635	313,967	100,000	160,455	141,587			
	国補助	千円	120,250	88,200	75,189	20,200	49,303	47,450			
	県補助	千円									
	市債	千円	217,500	187,800	187,700	58,300	86,600	72,900			
	その他	千円									
	一般財源	千円	51,867	50,635	51,078	21,500	24,552	21,237			
	人工数	人	3.1			2.9					
	人件費	千円	23,445			21,932					

手段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度	
地権者に対し丁寧な説明に努め、建物等の移転補償を円滑に進めていく。	建物移転棟数	棟	目標値	108	115	122	129
			実績値	108	110	117	
成果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度	
公共施設の整備改善と宅地の再編成を行うことにより商店街の活性化と住環境整備を図る。	土地区画整理事業実施率	%	目標値	41	44	47	50
			実績値	40	44	45	



令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
5	2	1	1	茂原駅前通り地区土地区画整理事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	03	04	01	茂原駅前通り地区土地区画整理事業

整理番号
502010101

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・年度内に建物等の補償契約を4件締結し、繰越を含め7棟の建物移転を進めた。 ・区画道路の整備を行った。 ・今後のまちづくりを検討するため、庁内の関係課及びまちづくり推進協議会の役員と協議を行った。 		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	B: 必要性が認められる	B: 有効性が認められる	B: 効率性が認められる
	総合評価		
<p style="font-size: 1.2em; font-weight: bold;">B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)</p>			
分析・評価(活動してどのような課題があったか)			
<p>本事業は、施行面積10.7ha、総事業費160億円、施行期間は平成4年度から令和13年度としている。平成5年3月の事業計画決定とともに着手し、平成7年度から早期完成を目指し建物移転や道路築造工事等の推進に努めてきた。進捗率は、30年を経過した現在、総事業費に対し、45.2%であり事業の更なる長期化が懸念される状況となっている。また、地権者からは長期化している状況に対する不満等も多いことから、早期完成に努める。</p>			

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性	改善・改革の手法
	B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要	⑥その他
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
	<ul style="list-style-type: none"> ・事業区域内の主要道路である都市計画道路を優先的に整備することで、土地利用の活性化を図る。 ・事業進捗を図るため、交付金や起債を活用し、より効率的な事業実施に努める。 	
	企画政策課の評価	評価理由
B	<p>A: 計画どおり事業継続が 適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検 討が必要 D: 事業終了が適当</p> <p>本事業は、茂原駅前通り地区の住環境の改善と商店街の活性化に資する事業と認められる。一方で、現状事業の進捗に遅れがあり、土地利用の活性化について成果が見えづらい。今後とも関係者との調整を図るとともに、確実な歳入確保により、効率的な事業実施に努めていきたい。</p>	

令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
5	3	1	1	総合交通体系	道路網の整備
実施計画事業名					
茂原長柄スマートIC周辺整備事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
7	01	03	03	茂原長柄スマートIC周辺整備事業	
担当課・係等					
土木建設課 道路整備係					

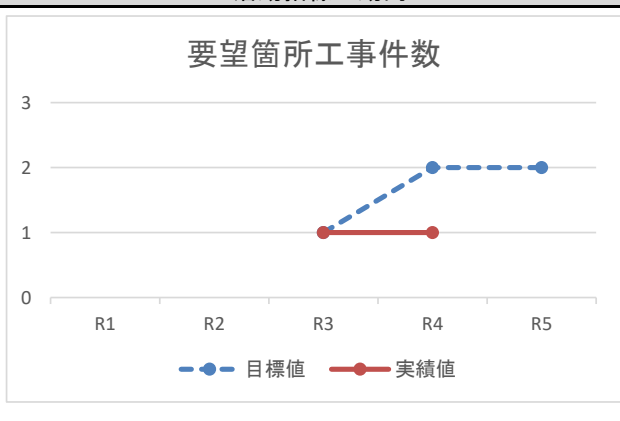
実施計画整理番号	
503010101	
総合戦略整理番号	42201

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何をを行うか)
	茂原長柄スマートIC周辺を整備し、市民及び道路利用者の安全性・利便性の向上を図り、土地利用の推進を図る。	茂原長柄スマートIC周辺の整備を行う。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	茂原長柄スマートIC周辺を整備し、市民及び道路利用者の安全性・利便性の向上を図ることにより、土地利用の推進につながり、ひいては施策「道路網の整備」に寄与する。	

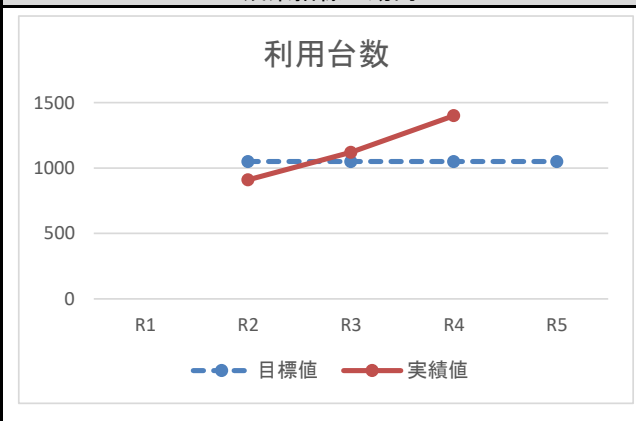
投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	1,100	1,100	1,089	9,020	8,690	6,666			
	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円				6,500	6,500	4,900			
	その他	千円									
	一般財源	千円	1,100	1,100	1,089	2,520	2,190	1,766			
	人工数	人	1			1.2					
	人件費	千円	7,563			9076					

手段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
茂原長柄スマートIC周辺整備事業を進める。	要望箇所工事件数	件		1	2	2
				1	1	
			目標値			
			実績値			
成果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
茂原長柄スマートIC周辺を整備することで、市民及び道路利用者の安全性・利便性の向上を図る。	茂原長柄スマートIC利用台数	台/日		1,050	1,050	1,050
				910	1,120	1,400
			目標値			
			実績値			

活動指標の動向



成果指標の動向



令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
5	3	1	1	茂原長柄スマートIC周辺整備事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	01	03	03	茂原長柄スマートIC周辺整備事業

整理番号
503010101

課題抽出 (CHECK)

活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
<ul style="list-style-type: none"> ・法定外道路において法面工事を実施した。 ・茂原長柄スマートIC周辺を整備し、市民及び道路利用者の安全性・利便性が向上した。 		
必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	B: 効率性が認められる
総合評価		
B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)		
分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
<ul style="list-style-type: none"> ・目標としていた法定外道路の整備が完了した。 ・次年度以降、他の路線の整備を早急に完了させるためには、事業費増による対策が必要である。 		

今後の方向性 (ACTION)

事業の方向性	改善・改革の手法
B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要	⑤更なる事業の推進
課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
<ul style="list-style-type: none"> ・市民及び道路利用者の安全性・利便性の向上を再度見直し、財源の確保に努めるとともに、最小の経費で最大の効果をもたらすよう、工法等も検討する。 	
企画政策課の評価	評価理由
B <ul style="list-style-type: none"> A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当 	スマートIC周辺の整備を実施することで、市民及び利用者の安全性・利便性の向上に資する事業と認められる。引き続き、財源確保を図るとともに、より効果的・効率的に事業を実施することで、土地利用の推進につながるよう努めていただきたい。

令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
5	3	1	2	総合交通体系	道路網の整備
実施計画事業名					
都市計画道路整備事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
7	03	02	01	街路事業費	
担当課・係等					
土木建設課 道路整備係					

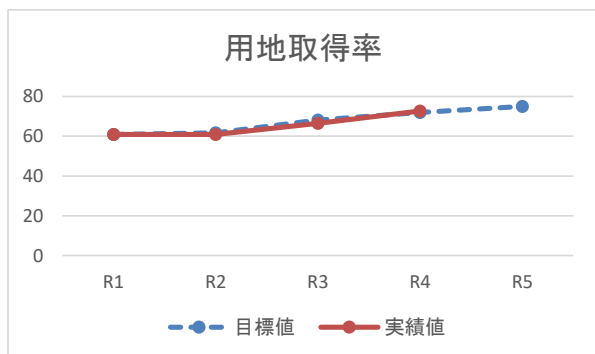
実施計画整理番号	
503010201	
総合戦略	
整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	都市計画道路「桑原八千代線」他1路線の事業認可区域内の道路を完成させ、補助幹線道路網の整備をすることで、利便性の向上および交通の円滑化を図る。	事業認可区域内の街路事業用地を取得し、道路改良工事を実施する。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	JR茂原駅を挟んだ南北道路(桑原八千代線、小林浜町線)を整備する事により、JR茂原駅周辺に不要な通過交通を引き込まない事につながり、ひいては施策「道路網の整備」に寄与する。	

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	60,891	194,613	142,812	103,000	116,343	84,011			
	国補助	千円	16,303	82,231	61,552	38,500	52,636	38,576			
	県補助	千円									
	市債	千円	40,000	100,400	72,400	58,000	57,100	40,800			
	その他	千円									
	一般財源	千円	4,588	11,982	8,860	6,500	6,607	4,635			
	人工数	人	2.1			2.3					
	人件費	千円	15,882			17,395					

手段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度	
街路事業用地を取得し、都市計画道路を整備する。	用地取得率 (桑原八千代線)	m ²	目標値	61.7	68.1	72	75
			実績値	60.9	66.5	72.7	
成果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度	
事業の早期完成を目指すことで、利便性の向上および交通の円滑化を図る。	事業の早期完成により利便性向上および交通が円滑化		目標値				
			実績値				

活動指標の動向



成果指標の動向

令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
5	3	1	2	都市計画道路整備事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	03	02	01	街路事業費

整理番号
503010201

課題抽出 (CHECK)

活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
<p>・桑原八千代線【継続地区】において、長年用地交渉をしていた箇所用地が取得できたため、道路改良工事を進める事ができた。</p>		
必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	B: 効率性が認められる
総合評価		
<p>B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)</p>		
分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
<p>・用地交渉に多大な時間を要した為、工事着手に遅れが生じた。</p>		

今後の方向性 (ACTION)

事業の方向性	改善・改革の手法
B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要	⑤更なる事業の推進
課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
<p>・用地交渉には時間を要するため、前年度から早期に交渉にあたり、事業用地の協力依頼を行う。 ・交付金を活用するなど、財源の確保に努め、予算の確保に努める。</p>	
企画政策課の評価	評価理由
<p>B</p> <p>A: 計画どおり事業継続が 適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検 討が必要 D: 事業終了が適当</p>	<p>道路利用者の利便性の向上及び交通の円滑化に資する事業と認められる。引き続き、財源確保を図りながら、より効率的な手法により着実な事業実施に努めていただきたい。</p>

令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
5	3	3	2	総合交通体系	バス輸送の整備
実施計画事業名					
地域公共交通事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
7	3	1	11	地域公共交通事業	
担当課・係等					
都市計画課交通政策係					

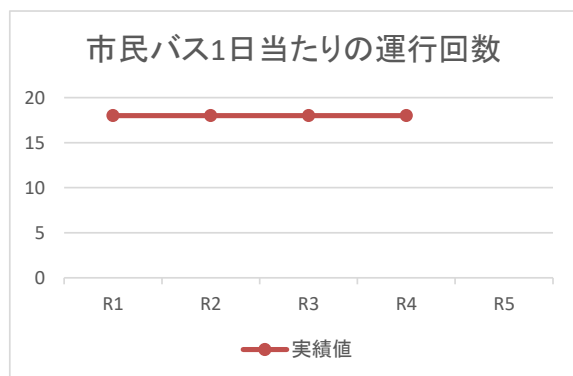
実施計画整理番号	
503030201	
総合戦略整理番号	42102

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	交通空白地域の解消及び学生や高齢者等の交通弱者また通勤利用者の利便性が向上することを旨とする。	地域公共交通を維持するため、路線バスへの補助金交付、市民バス(定時定路線型)及びデマンド交通(区域運行型乗合タクシー)の運行により交通手段の確保を図る。また、茂原市地域公共交通会議において、関係事業者等と協議し地域に即した輸送サービスの実現を目指す。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	交通空白地域の解消及び高齢者等の交通弱者に、必要な移動手段を確保するとともに、民間路線バス、鉄道、タクシーと相互連携した持続可能な地域公共交通の構築を目指し、ひいては施策「バス輸送の整備」に寄与する。	

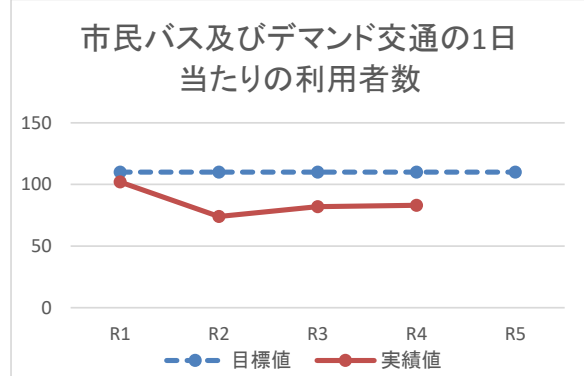
投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	31,510	31,510	30,494	41,178	36,646	33,368			
	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円	9,011	9,011	9,745	12,998	13,572	11,078			
	一般財源	千円	22,499	22,499	20,749	28,180	23,074	22,290			
	人工数	人	0.7			1.3					
	人件費	千円	5,294			9,832					

手段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
地域公共交通を維持するため、路線バス事業者へ補助金を交付する。また、地域に即した交通手段の確保を図るため、茂原市地域公共交通会議において関係事業者等と協議を行い、市民バス及びデマンド交通の運行を行う。	市民バス1日当たりの運行回数	便	目標値 維持します 実績値 18	維持します 18	維持します 18	維持します
	デマンド交通の1日当たりの運行回数	便	目標値 維持します 実績値 8	維持します 8	維持します 8	維持します
成果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
学生や高齢者等の交通弱者並びに通勤利用者の交通手段を確保し、交通空白地域の解消を図る。	市民バス及びデマンド交通の1日当たりの利用者数	人	目標値 110 実績値 74	110 82	110 83	110

活動指標の動向



成果指標の動向



令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
5	3	3	2	地域公共交通事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	3	1	11	地域公共交通事業

整理番号
503030201

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・地域公共交通(市民バス等)の運行については、事業者運行業務を委託し、市民バス及びデマンド交通の運行を行った。また、デマンド交通の新たな乗降場所を1箇所設置した。 ・地域公共交通会議の運営については、5月、6月、12月、3月の4回実施した。 ・路線バス運行補助金については、路線バス事業者及び近隣町村と協議のうえ、6路線に対する補助金を交付した。 ・千葉県JR線複線化等促進期成同盟負担金については、東日本旅客鉄道株式会社に対する要望活動を実施するため、同期成同盟に負担金を支出した。 		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	B: 効率性が認められる
	総合評価		
B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)			
分析・評価(活動してどのような課題があったか)			
<ul style="list-style-type: none"> ・地域公共交通(市民バス等)の運行については、乗降場所の追加など、利用者のさらなる利便性向上を図る必要がある。 ・地域公共交通会議の運営については、必要に応じて開催回数を増やすことも検討する。 ・路線バス運行補助金については、補助路線及び補助金額について、路線バス事業者及び近隣市町村と協議する必要がある。 ・千葉県JR線複線化等促進期成同盟負担金については、東日本旅客鉄道株式会社に対して効果的な要望を実施する必要がある。 			

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性	改善・改革の手法
	B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要	⑤更なる事業の推進
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
	<ul style="list-style-type: none"> ・地域公共交通(市民バス等)の運行については、市民のニーズの把握に努め、地域公共交通会議において十分に協議する。 ・地域公共交通会議の運営については、議題に応じて適切に会議を開催・運営する。 ・路線バス運行補助金については、合理的な積算方法により、適切な補助金の交付を行う。 ・千葉県JR線複線化等促進期成同盟負担金については、東日本旅客鉄道株式会社に対する要望事項を精査する。 	
企画政策課の評価		評価理由
B	<ul style="list-style-type: none"> A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当 	交通空白地域の解消及び交通弱者の利便性向上に資する事業と認められる。引き続き、市民ニーズを的確に把握するとともに、地域公共交通の必要性について十分な協議に努められたい。

令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
5	5	3	1	下水道等	浄化槽対策の推進
実施計画事業名					
合併処理浄化槽設置促進事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
4	01	07	02	浄化槽対策事業	
担当課・係等					
環境保全課環境対策係					

実施計画整理番号	
505030101	
総合戦略整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	公共用水域の水質汚濁防止のため、公共下水道事業計画の認可区域・農業集落排水事業採択区域を除く区域において、合併処理浄化槽への転換設置を促進する。	<ul style="list-style-type: none"> 単独処理浄化槽及びびくみ取り便槽から合併処理浄化槽へ転換設置する市民に対し、補助金を交付する。 市公式ウェブサイトや広報等により維持管理の徹底や生活排水対策について周知する。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	

公共下水道・農業集落排水以外の区域における生活排水対策として、合併処理浄化槽への転換を促進する必要がある。合併処理浄化槽への転換には多額の費用を要するため、補助金交付により転換の促進を図り、施策「浄化槽対策の推進」に寄与する。

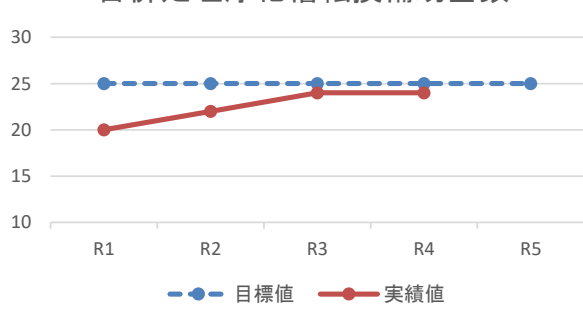
投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
	事業費	千円	15,284	15,284	14,250	15,371	15,360	14,530			
財源内訳	国補助	千円	3,548	3,548	3,416	3,593	3,593	3,573			
	県補助	千円	5,868	5,868	5,416	5,883	5,883	5,478			
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	5,868	5,868	5,418	5,895	5,884	5,479			
人工数	人		1.00		1.00						
人件費	千円		7,563		7,563						

手段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
公共下水道・農業集落排水以外の区域において、トイレや台所、ふろ場などすべての生活排水を処理する合併処理浄化槽へ転換設置する市民に補助金を交付する。	合併処理浄化槽転換補助基数	基	25	25	25	25
		実績値	22	24	24	
成果	成果指標	人	75	75	75	75
		実績値	66	72	72	

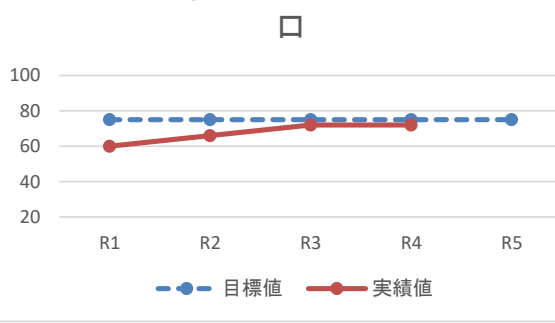
活動指標の動向

成果指標の動向

合併処理浄化槽転換補助基数



水質汚濁防止が図られた処理人



令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
5	5	3	1	合併処理浄化槽設置促進事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
4	01	07	02	浄化槽対策事業

整理番号
505030101

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	<p>・単独処理浄化槽21件、くみ取り便槽3件、合計24件について、合併処理浄化槽への転換設置を補助した。</p> <p>・広報やウェブサイト等を通して、補助制度の周知を図るとともに、浄化槽の適正な維持管理、家庭における生活排水対策について啓発を図った。</p>		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
	総合評価		
<p>B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)</p>			
分析・評価(活動してどのような課題があったか)			
<p>・公共下水道・農業集落排水以外の区域において、まだ多くの家庭で単独処理浄化槽やくみ取り便槽を使用しているものと推計されるため、合併処理浄化槽への転換補助を継続していく必要がある。</p> <p>・補助制度の利用促進を図るため、引き続き周知を図る必要がある。</p> <p>・既設浄化槽を適正に機能させるため、適正な維持管理について引き続き啓発を図る必要がある。</p>			

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性	改善・改革の手法
	B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要	⑤更なる事業の推進
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
	<p>・合併処理浄化槽への転換補助、補助制度の周知、浄化槽の適正な維持管理について啓発を図ることから、公共下水道・農業集落排水以外の区域における生活排水対策に一定の成果を挙げていることから、引き続き事業の推進を図る。</p>	
企画政策課の評価	評価理由	
<p>A</p> <p>A: 計画どおり事業継続が 適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検 討が必要 D: 事業終了が適当</p>	<p>本事業は、公共用水域の水質汚濁防止に一定の成果を挙げていると認められる。引き続き、計画的な事業実施及び補助制度の利用促進のため、より効果的な周知に努めていただきたい。</p>	

令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
5	5	4	1	下水道等	排水の適正処理
実施計画事業名					
排水整備事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
7	02	02	02	排水整備事業	
担当課・係等					
土木建設課 河川整備係					

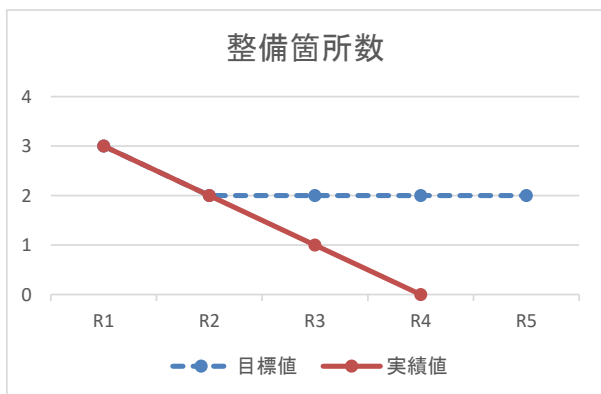
実施計画整理番号	
505040101	
総合戦略整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何をを行うか)
	幹線排水路及び生活排水路を計画的に整備することにより、排水不良の解消及び住環境の整備を図る。	茂原市排水基本計画に基づき排水施設の整備を進める。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	近年の気候変動に伴い、大雨が激甚化、頻発化していることから、幹線排水路及び生活排水路を整備することにより、排水不良の解消及び住環境の整備が図られ、ひいては施策「排水の適正処理」に寄与する。	

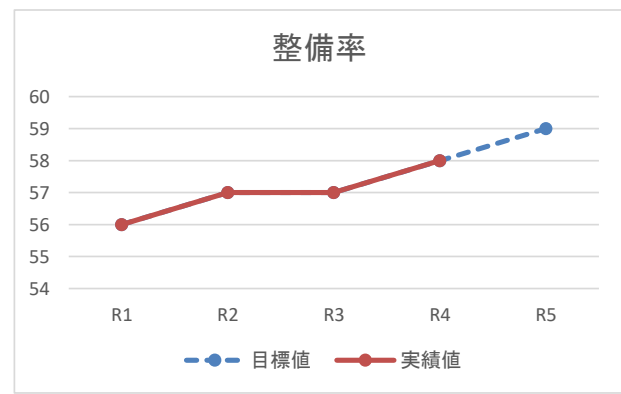
投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	18,007	18,007	16,814	20,000	31,700	0			
	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円	13,500	13,500	12,600	15,000	22,200	0			
	その他	千円					2,000	0			
	一般財源	千円	4,507	4,507	4,214	5,000	7,500	0			
	人工数	人		0.96			1.3				
	人件費	千円		5,701			8,415				

手段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
幹線排水路及び生活排水路の整備	排水路整備	箇所	2	2	2	2
		箇所	2	1	0	
			目標値			
			実績値			
成果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
排水不良の解消及び住環境の整備	整備率 (着手箇所/要望箇所)	%	57	57	58	59
		%	57	57	58	
			目標値			
			実績値			

活動指標の動向



成果指標の動向



令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
5	5	4	1	排水整備事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	02	02	02	排水整備事業

整理番号
505040101

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・上茂原地先の排水整備工事を実施した。延長L=250m(R5へ繰越) 		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	B: 効率性が認められる
	総合評価		
B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)			
分析・評価(活動してどのような課題があったか)			
<ul style="list-style-type: none"> ・近年の大雨の激甚化、頻発化への対策並びに、地元からの多くの要望に対応できない状況である。 			

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性	改善・改革の手法
	B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要	⑤更なる事業の推進
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
	<ul style="list-style-type: none"> ・選択と集中による、より効率的な排水路整備に取り組む必要がある。 	
企画政策課の評価		評価理由
B	A: 計画どおり事業継続が 適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検 討が必要 D: 事業終了が適当	排水不良の解消及び住環境の整備に資する事業と認められる。住民ニーズの把握と優先順位を十分考慮し、より効率的で効果的な事業実施に努めていただきたい。

令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
5	5	4	1	下水道等	排水の適正処理
実施計画事業名					
道路排水整備事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
7	01	03	02	道路排水新設事業	
担当課・係等					
土木建設課 道路整備係					

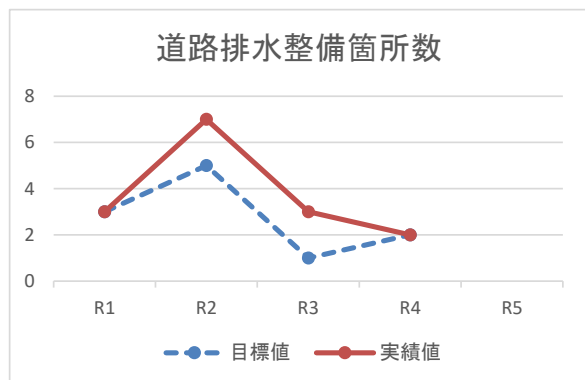
実施計画整理番号	
505040102	
総合戦略整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	道路排水不良箇所の整備を行うことにより、道路利用者の安全性を確保する。	道路排水整備工事の実施。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	道路排水施設を整備する事により、市民の生活環境を保全することと、豪雨等への対策につながり、ひいては施策「排水の適正処理」に寄与する。	

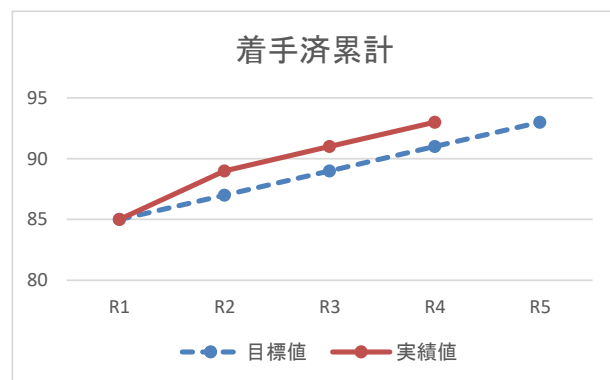
投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	5,500	5,500	5,498	7,700	14,300	14,287			
	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円				5,700	10,700	10,700			
	その他	千円									
	一般財源	千円	5,500	5,500	5,498	2,000	3,600	3,587			
	人工数	人	1.2			0.4					
	人件費	千円	9,076			3025					

手段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
道路排水施設を整備する事により、市民の生活環境の保全に努め、豪雨等への対策に努める。	道路排水整備箇所数	箇所	5	1	2	2
		箇所	7	3	2	
			目標値			
			実績値			
成果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
道路排水整備事業を進め、道路利用者の安全性を確保する。	着手済累計	箇所	87	89	91	93
		箇所	89	91	93	
			目標値			
			実績値			

活動指標の動向



成果指標の動向



令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
5	5	4	1	道路排水整備事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	01	03	02	道路排水新設事業

整理番号
505040102

課題抽出 (CHECK)

活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
<p>・市道3級7387号線他1路線の道路排水新設工事を実施した。 道路排水新設整備を進めることで、市民の生活環境を保全することと、豪雨等への対策につながり、排水不良地区の解消となった。</p>		
必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
総合評価		
A: 十分な成果を挙げた(目標・目的を達成している)		
分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
<p>・道路排水の整備として、目標としていた箇所の整備が実施ができた。 ・住民要望は増加しており要望に対する進捗率が図れない状況であり、事業費増による対策が必要である。</p>		

今後の方向性 (ACTION)

事業の方向性	改善・改革の手法
A: 計画どおり事業を進めることが適当	⑤更なる事業の推進
課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
<p>・財源の確保に努めるとともに、最小の経費で最大の効果をもたらすよう、工法等も検討する。</p>	
企画政策課の評価	評価理由
<p style="font-size: 2em; font-weight: bold;">A</p> <p>A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当</p>	<p>道路利用者の安全性の確保に資する事業と認められる。引き続き、住民ニーズを把握するとともに優先順位を考慮の上、より効率的な事業実施に努めていただきたい。</p>

令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
5	6	1	1	公園・緑地	公園の整備
実施計画事業名					
都市公園等維持補修事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
7	03	03	01	都市公園等維持管理費	
担当課・係等					
都市整備課公園緑地係					

実施計画整理番号	
506010101	
総合戦略整理番号	

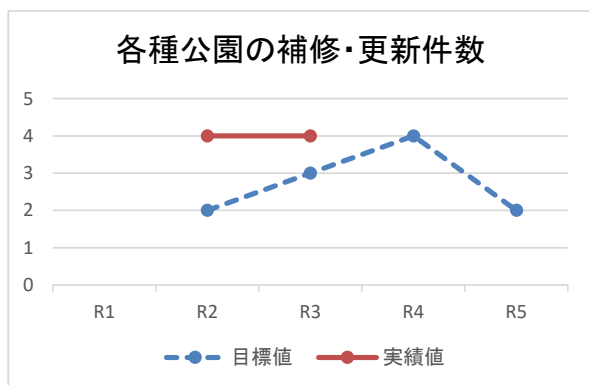
事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	公園内の遊具・施設について、適切に補修・更新することで、子供たちが楽しく、安心して遊べる公園とする。	老朽化した遊具・施設を計画的に補修・更新を行う。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	各公園の施設の老朽化が顕著であるため、計画的な整備をすすめることで、施策「公園の整備」に寄与する。	

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	1,856	4,333	4,333	2,461	3,713	3,611			
	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	1,856	4,333	4,333	2,461	3,713	3,611			
	人工数	人	0.1			1.6					
	人件費	千円	756			12,101					

手段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
施設点検に努め、適切な維持管理を行う。	公園施設の補修・更新	件	2	3	4	2
		実績値	4	4	7	
		目標値				
		実績値				
成果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
適切な維持管理を行うことで、安全に利用できる公園にする。	公園を安全利用できるようになる	目標値				
		実績値				

活動指標の動向

成果指標の動向



令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
5	6	1	1	都市公園等維持補修事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	03	03	01	都市公園等維持管理費

整理番号
506010101

課題抽出 (CHECK)

活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
<ul style="list-style-type: none"> ・長清水公園公園灯LED化工事を実施した。 ・西ノ前公園擁壁等補修工事を実施した。 ・公園灯支柱更新工事を実施した。(茂原公園) ・公園遊具更新工事を実施した。(高師中央公園・広島公園・南本田第二公園) ・吉野公園スポーツボード撤去工事を実施した。 		
必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
B: 必要性が認められる	B: 有効性が認められる	B: 効率性が認められる
総合評価		
B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)		
分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
<p>安全性を求められる公園施設の補修について速やかに対応できた。 利用者が安全に利用できる公園維持のため、計画的な維持管理が必要である。</p>		

今後の方向性 (ACTION)

事業の方向性	改善・改革の手法
B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要	⑥その他
課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
<p>計画的な維持管理の実施のため、公園点検に基づく維持管理計画の作成及び財源の確保に努めるとともに、最小の経費で最大の効果をもたらすよう、整備方法を検討する。</p>	
企画政策課の評価	評価理由
B	<p>A: 計画どおり事業継続が 適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検 討が必要 D: 事業終了が適当</p> <p>公園利用者の安全・安心につながる事業と認められる。引き続き、計画的な維持管理を実施するとともに、歳入確保により、効率的な事業実施に努めていただきたい。</p>

令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
5	6	1	1	公園・緑地	公園の整備
実施計画事業名					
茂原公園再生事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
7	03	03	05	茂原公園再生事業	
担当課・係等					
都市整備課公園緑地係					

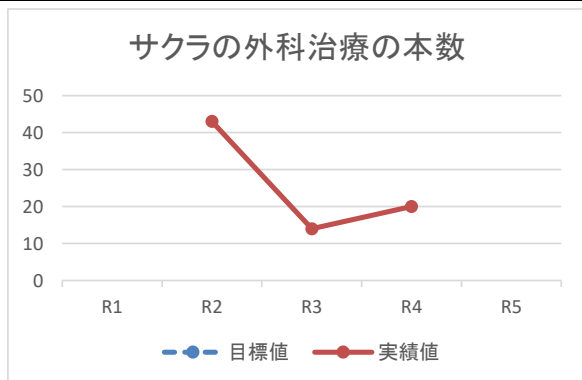
実施計画整理番号	
506010102	
総合戦略整理番号	32103

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	茂原市の中心的都市公園である茂原公園を、魅力ある誰もが利用しやすい公園として整備することで利用者の増加につなげる。	弁天湖の護岸をはじめ公園内の施設や桜の樹勢回復などの環境整備を推進する。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
老朽化が進む茂原公園では、公園利用者の安全確保及びライフサイクルコスト縮減の観点から、茂原公園施設等長寿命化計画に基づき施設ごとの適切な維持管理を実施することで、施策「公園の整備」に寄与する。		

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	92,284	92,284	90,145	101,994	87,048	50,115			
	国補助	千円	45,115	45,115	44,000	50,765	43,389	21,695			
	県補助	千円									
	市債	千円	40,600	40,600	39,600	45,600	39,000	23,800			
	その他	千円									
	一般財源	千円	6,569	6,569	6,545	5,629	4,659	4,620			
	人工数	人	0.4			3					
	人件費	千円	3,025			16,075					

手段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
公園整備を推進させ、外科治療・再治療を継続的に実施し、樹勢回復に努める。	茂原公園工事の件数	件		1	1	4
	茂原公園サクラの外科治療・再治療本数	本	43	14	20	
目標	適切に実施します		適切に実施します	適切に実施します	適切に実施します	適切に実施します
実績値						
成果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
茂原公園の利用者の増加につなげる	観光地としての魅力が向上する					
目標値						
実績値						

活動指標の動向



成果指標の動向

令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
5	6	1	1	茂原公園再生事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	03	03	05	茂原公園再生事業

整理番号
506010102

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・茂原公園弁天湖護岸改修工事を実施した。 ・桜の外科治療、再治療を実施した。 ・茂原公園展望デッキ転落防止柵補修工事を実施した。 ・茂原公園東屋補修工事を実施した。 		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	B: 必要性が認められる	B: 有効性が認められる	B: 効率性が認められる
	総合評価		
B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)			
分析・評価(活動してどのような課題があったか)			
<ul style="list-style-type: none"> ・さくらの外科再治療の成果については、桜の花の付きが年々良好になってきていることが明らかであることから、成果が得られていると考える。今後とも、さくら名所100選の地としてさくらの魅力の再生や知名度の向上を図るために継続する必要がある。 ・ハード整備の成果については、今年度は弁天湖護岸改修工事が完了したため、成果が得られていると考える。しかし、茂原公園再生計画における観光地としての魅力向上や多世代の来園者の増大につながるためには、老朽化した公園施設の整備をさらに推進する事が必要不可欠である。 			

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性	改善・改革の手法
	B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要	⑥その他
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
	<ul style="list-style-type: none"> ・直営による桜や公園施設の整備を継続して実施していく。 ・ハード整備については適用できる交付金を積極的に活用し財源の確保に努めるとともに、最小の経費で最大の効果をもたらすよう、工法等も検討する。 	
	企画政策課の評価	評価理由
B	<ul style="list-style-type: none"> A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当 <p>公園利用者の安全確保及び利用者の増加につながる事業と認められる。引き続き、歳入確保による効率的で計画的な事業実施に努めるとともに、利用者増加のための整備手法等についても調査・研究いただきたい。</p>	

令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
5	7	1	1	住宅環境	市営住宅施策の推進
実施計画事業名					
市営住宅長寿命化事業					

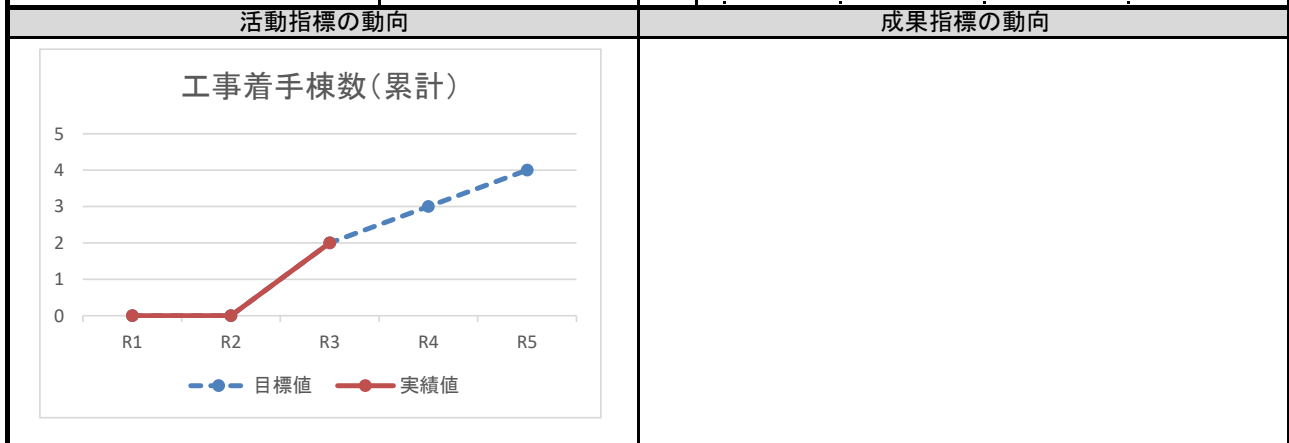
予算科目					
款	項	目	事	事業名	
7	04	01	04	市営住宅長寿命化事業	
担当課・係等					
建築課市営住宅管理係					

実施計画整理番号	
507010101	
総合戦略整理番号	

事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
<p>市営住宅長寿命化計画に基づき、ストック活用する中層住宅は、計画的な改善工事を実施し、効率的な管理、運営を行うことにより、ライフサイクルコストの縮減を図るとともに入居者の利便性の向上を目指す。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1.長谷住宅2号棟 改善工事の実施 2.長谷住宅3号棟 改善工事の実施 3.上茂原西住宅1号棟 改善工事設計業務、移転先住宅修繕の実施 4.上茂原西住宅1号棟 改善工事の実施 5.八幡原住宅1号棟 改善工事設計業務の実施
基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
<p>中層住宅の計画的な改善工事は、ライフサイクルコストの縮減、及び耐久性、居住性の向上につながり、施策「市営住宅施策の推進」に寄与する。</p>	

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	182,474	182,474	158,375	171,939	133,084	123,154			
	国補助	千円	64,955	64,955	63,271	47,246	31,080	30,727			
	県補助	千円									
	市債	千円	111,100	111,100	89,400	117,800	94,000	84,300			
	その他	千円									
	一般財源	千円	6,419	6,419	5,704	6,893	8,004	8,127			
	人工数	人		0.65		0.65					
	人件費	千円		4,916		4,916					

手段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
茂原市市営住宅長寿命化計画に基づき、中層住宅における改善工事の設計、工事、監理を計画的に実施する。また、それに伴う入居者移転等の対応を行う。	改善工事の着手棟数(累計)	棟	0	2	3	4
		実績値	0	2	3	
		目標値				
		実績値				
成果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
改善工事を実施することにより、市営住宅の長寿命化の推進及び入居者の利便性の向上が図られる。						
		目標値				
		実績値				



令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
5	7	1	1	市営住宅長寿命化事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	04	01	04	市営住宅長寿命化事業

整理番号
507010101

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・市営長谷住宅2号棟の改善工事については、屋上防水や外壁塗装の外部改善工事に加え、大規模な内部の改善工事を実施し完了した。 また、入居者を募集するにあたり、広報やウェブページ及び、各公共施設等で周知を行ったことで、早期に満床となった。 なお、住宅使用料については、法令に基づき、適正な家賃計算を行った。 ・市営上茂原西住宅1号棟の改善工事については、屋上防水や外壁塗装の外部改善工事を実施し完了した。 なお、次年度から2年かけて大規模な内部の改善工事に着手する予定であるため、現在入居している入居者と移転交渉を行い、入居者の希望どおりの住居への移転を行った。 		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
	総合評価		
A: 十分な成果を挙げた(目標・目的を達成している)			
分析・評価(活動してどのような課題があったか)			
<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度から令和6年度にかけて実施する市営上茂原西住宅1号棟の大規模な改善工事については、議会の議決を要する工事となるため、執行から着手までのスケジュール管理が重要となる。 ・長谷住宅1号棟については、令和5年度に外部改善工事を実施する予定であり、住民が居住したまま、工事を行うため、入居者への配慮が必要となる。 			

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性		改善・改革の手法	
	A: 計画どおり事業を進めることが適当		⑤更なる事業の推進	
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)			
	<ul style="list-style-type: none"> ・今後、長寿命化を行う住宅においては、計画どおりに事業が進められているかスケジュール管理を行う必要があるとともに、各年に予定される工事については、円滑な工事となるよう進捗管理に努める。 また、入居者が居住した状態で工事を行うこともあるため、日常生活に支障がでないよう、きめ細やかな配慮をする必要がある。 			
	企画政策課の評価		評価理由	
A	<ul style="list-style-type: none"> A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当 	本事業は、ライフサイクルコストの縮減及び入居者の利便性向上に資する事業と認められる。引き続き、優先順位を考慮し、効率的な事業実施し、入居者への配慮に努めていただきたい。		

令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
5	7	1	1	住宅環境	市営住宅施策の推進
実施計画事業名					
市営住宅集約化事業					

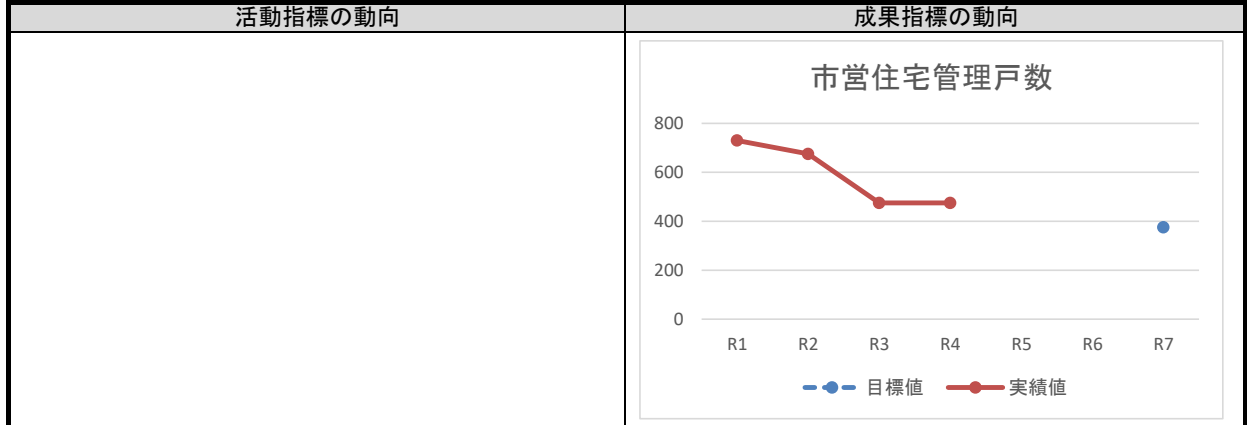
予算科目					
款	項	目	事	事業名	
7	4	1	6	市営住宅集約化事業	
担当課・係等					
建築課 市営住宅管理係					

実施計画整理番号	
507010102	
総合戦略整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何をを行うか)
	市営住宅9住宅、管理戸数475のうち、長寿命化計画において用途廃止する住宅として位置付けられている真名住宅及び八丁寺住宅について集約化を図ることにより、維持管理費等の経費削減を図る。	・真名住宅は、入居者の移転を進めるとともに、跡地活用の検討、用地測量、土地所有者説明会を行う。 ・八丁寺住宅は、入居者説明会を実施し、移転事業を進める準備を行う。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	茂原市市営住宅長寿命化計画に基づく計画的な集約化の推進及び効率的な管理・運営を行うことにより、ライフサイクルコストの縮減が図られ、ひいては施策「市営住宅施策の推進」に寄与する。	

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度			
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	
	財源内訳	事業費	千円		274	274						
		国補助	千円									
		県補助	千円									
		市債	千円									
		その他	千円									
		一般財源	千円		274	274						
	人工数	人		0.02								
	人件費	千円		152								

手段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度	
長寿命化計画に基づき、用途廃止に位置付けられている市営住宅の集約化を図る。		目標値					
			実績値				
		目標値					
			実績値				
成果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度	
集約化の推進及び効率的な管理・運営によりライフサイクルコストの縮減が図られる。	市営住宅管理戸数 ※令和7年度までに管理戸数376戸を目標値とする。		目標値	-	-	-	-
			実績値	675	475	475	



令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
5	7	1	1	市営住宅集約化事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	4	1	6	市営住宅集約化事業

整理番号
507010102

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・予算の確保はできなかったが、土地所有者26名に、今後の借地の取り扱いについて意向調査を実施し意見の集約を行った。また、土地所有者説明会を開催した結果、土地所有者からなる組織の立上げを行うこととなった。 ・本事業ではないが、市営真名住宅中層4階建の入居者からの要望や防犯上の問題及び住宅の維持管理の観点から、全入居世帯(3世帯)の移転を行った。 		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
	総合評価		
B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)			
分析・評価(活動してどのような課題があったか)			
<ul style="list-style-type: none"> ・市営真名住宅の集約化のため、残り18世帯の移転を早期に完了させ、跡地利活用に向けて、条件整備を進めていく。 ・入居者移転にあたり、移転対象者の選定や転居先の修繕等の調整を早期に実施することが必要である。 			

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性	改善・改革の手法
	B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要	⑤更なる事業の推進
	課題を抑制する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
	<ul style="list-style-type: none"> ・市営真名住宅の集約化に伴い、所管課にて明確な跡地利利用計画と売却方針等を示するとともに、担当課による、残り18世帯の移転事業や、用地測量等を実施していくことが必要である。 	
企画政策課の評価		評価理由
A	<ul style="list-style-type: none"> A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当 	市営住宅の計画的な集約化の推進及び効率的な管理・運営を行うことは、ライフサイクルコストの縮減につながる事業と認められる。また、市営真名住宅については、跡地利活用の促進につながるため、関係各課との協議に努めていただきたい。

令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
5	7	2	1	住宅環境	住宅環境の整備促進
実施計画事業名					
木造住宅耐震化事業					

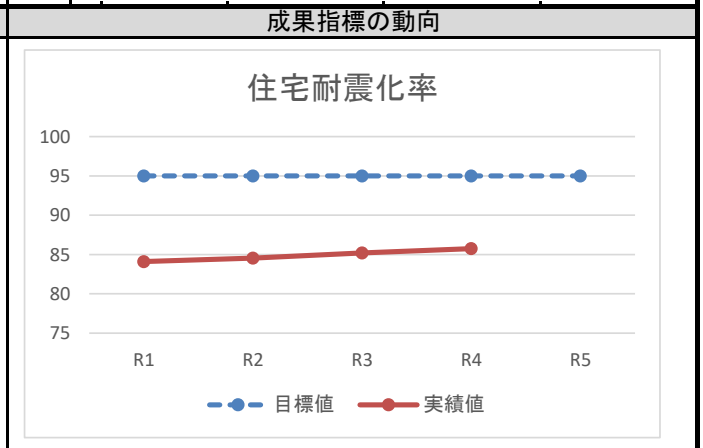
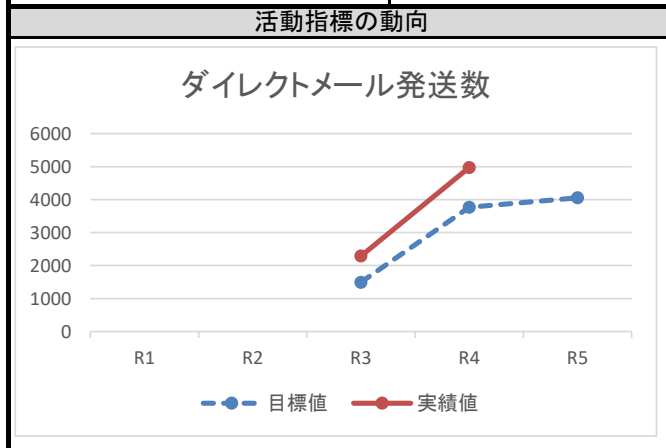
予算科目					
款	項	目	事	事業名	
7	03	01	10	木造住宅耐震化促進事業	
担当課・係等					
建築課審査指導係					

実施計画整理番号	
507020101	
総合戦略 整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	耐震性の低い木造住宅の耐震性を向上し、住民の生命、財産の保護に寄与する。	耐震性の低い木造住宅の所有者等に対し耐震相談を行い、耐震診断、耐震改修にかかる費用の一部を補助する。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	耐震診断及び改修等に係る費用の一部を補助することで、耐震性の低い住宅の改善を促進し、施策「住宅環境の整備促進」に寄与する。	

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	17,460	16,976	2,822	6,519	6,128	2,530			
	国補助	千円	8,329	8,329	1,258	3,059	2,880	1,070			
	県補助	千円	3,314	3,314	380	1,229	1,040	445			
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	5,817	5,333	1,184	2,231	2,208	1,015			
	人工数	人	0.9			1.1					
	人件費	千円	6,807			8,319					

手段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
建築士事務所協会に耐震診断士の派遣を委託し耐震相談を行い、診断等に要する費用の一部を補助することで耐震化の促進を図っている。併せて住宅所有者へのダイレクトメールにより周知・促進に努める。	耐震相談会	回数	7 実績値	7	7	7
	ダイレクトメール発送	件数	3 実績値	4	6	
成果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
			95 実績値	95	95	95
耐震性の低い木造住宅の耐震性を向上し、住民の生命、財産の保護に寄与する。	木造住宅耐震化率の向上	%	84.54 実績値	85.2	85.74	



令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
5	7	2	1	木造住宅耐震化事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	03	01	10	木造住宅耐震化促進事業

整理番号
507020101

課題抽出 (CHECK)

活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)

- ・住宅所有者へ直接申込書の送付及び新聞広告にて耐震相談会の周知を図り、計6回、延べ57組の相談に対応した。
- ・アスモにて空き家合同相談会を実施した。
- ・国及び県の補助金を活用し、耐震診断補助11名、解体補助1名、ブロック塀補助5名に対し補助金を交付した。
- ・旧耐震住宅(S56以前)の所有者へ、ダイレクトメールを送付し、市の取組内容の周知啓発と併せて今後の意向調査を実施し、促進を図るべき対象数の実態把握を行った。
- ・小学校周辺のブロック塀調査を行い、促進を図るべき対象数の実態把握を行った。

必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	B: 効率性が認められる

総合評価

C: 成果を挙げる事ができなかった(目標・目的を達成していない)

分析・評価(活動してどのような課題があったか)

- ・耐震診断への誘導は成果が出ているものの、改修に結び付いていない。
- ・ダイレクトメールを建物所有者へ発送したが、宛所不明により返送されるケースがあった。名義変更がされていないケースや実際の管理者が違うことが考えられる。

今後の方向性 (ACTION)

事業の方向性	改善・改革の手法
B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要	⑤更なる事業の推進

課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)

- ・各種補助金のWeb申請など時代に即した対応の検討を行う。
- ・ダイレクトメール未達者に対する再発送を調査・検討するとともに、今後の発送方法についても、所有者及び納税者情報のすり合わせを行い未達防止を図る。

企画政策課の評価	評価理由
B	<ul style="list-style-type: none"> A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当 <p style="font-size: small;">耐震性の低い木造住宅の耐震性向上等に資する事業と認められる。一方で、事業の推進のためには、住民の耐震化に対する意識向上を図る必要があることから、より効果的な周知に努めていただきたい。</p>

令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
5	7	3	1	住宅環境	空き家対策の推進
実施計画事業名					
空家等対策事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
7	04	01	05	空家等対策事業	
担当課・係等					
建築課住宅政策係					

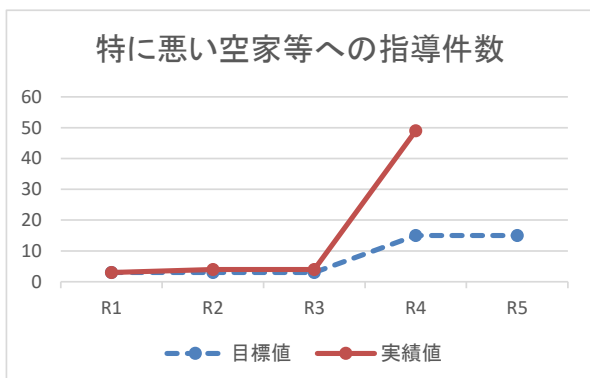
実施計画整理番号	
507030101	
総合戦略 整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何をを行うか)
	空家等対策の推進に関する特別措置法に基づき、空家等に関する必要な措置を適切に講ずるよう努めることにより、市民の生活の向上と安心を与え、質の高い住環境の実現を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 空家等対策協議会の開催。 緊急安全措置の実施。 空き家バンク登録物件リフォーム補助の交付。 特定空家等への法的措置。
	※緊急安全措置・・・防災上において緊急を要するものに対し安全性の担保や二次被害を起こさないための措置。	
基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)		
人口減少や核家族化等により空き家の増加に伴い、効率的かつ総合的な空家対策を講じる必要がある。管理不適正な空家が抱える問題は、多種多様であるため、さまざま施策の充実を図ることで、施策「空家対策の推進」に寄与する。		

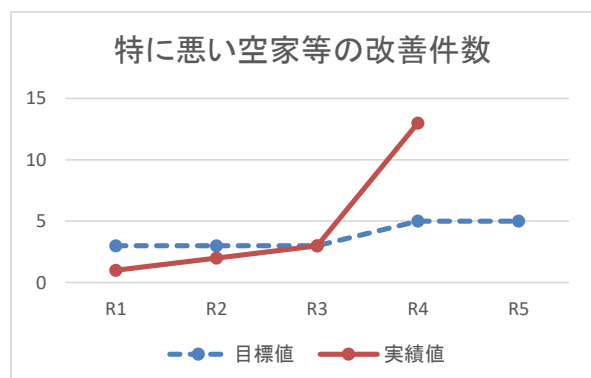
投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	1,139	4,317	3,490	1,400	1,213	975			
	国補助	千円		3,150	2,839	500	500	397			
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	1,139	1,167	651	900	713	578			
	人工数	人		1.35		1.35					
	人件費	千円		10,210		10,210					

手段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
管理不適正で状態が特に悪い空家等の所有者に対し、法令等に基づく指導等を強化する。	状態が特に悪い空家等への指導等件数	戸	3	3	15	15
		実績値	4	4	49	
成果	成果指標	戸	3	3	5	5
		実績値	2	3	13	

活動指標の動向



成果指標の動向



令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
5	7	3	1	空き家等対策事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	04	01	05	空き家等対策事業

整理番号
507030101

課題抽出 (CHECK)

活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
<ul style="list-style-type: none"> ・空き家所有者が抱える問題にアドバイスを行うため、ショッピングセンターアスモにて空き家相談会を開催し、15組の相談者が来場された。 ・著しく管理不適正な空家67件に対し、令和5年3月末時点で、所有者調査を終えた49件の指導を実施した結果、13件が解体に至った。 ・令和5年度から建築課が空き家バンクを所管することになり、移住定住に加え、空き家対策でも活用できるよう茂原市空き家バンク実施要綱を改正した。また、空き家の利活用を促進するために不動産事業者と協議し、「茂原市における空家等対策の推進に関する協定」を締結した。 ・「まちの活性化」に資する空き家利活用方策を市民等に発信した。アンケート結果では、期待を寄せる声が多くあり、市民活動団体がシンポジウムを開催したり、本市の活性化に向けて事業を始めようとする企業も現れた。 ・所有者不存在の空き家の情報を整理し、令和5年度から7年度にかけ、毎年5件計15件の相続財産管理人申立を計画した。 		
必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	B: 効率性が認められる
総合評価		
A: 十分な成果を挙げた(目標・目的を達成している)		
分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
<ul style="list-style-type: none"> ・空家特措法に基づく指導により、改善された空家等もあるが、度重なる指導等においても改善が図られない空家等に対しては、行政代執行を検討する必要がある。 ・管理不適切な空家等の相談件数は令和4年度133件あり、その多くは家屋の劣化ではなく、敷地内の雑草・樹木の繁茂によるものである。指導等に応じ草刈り等の改善が見られるが、次年度以降も引き続き継続的に管理させることが必要である。また、空き家は増加傾向であり、著しく管理不適切な空家等も増加が見込まれる。 ・所有者不存在の空家は管理者がいがないため、放置が長引けば管理不全空家となるおそれがある。 ・空き家の利用・活用が進まない。 		

今後の方向性 (ACTION)

事業の方向性	改善・改革の手法
B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要	③連携・協働の推進
課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
<ul style="list-style-type: none"> ・空き家利活用を推進するため、令和5年度から空き家所有者へ売買等の意向調査(アンケート調査)を行い、売買等の希望者と不動産事業者をマッチングさせ、空き家の中古市場流通を図る。 ・著しく管理不適正な空家等のみならず、その予備軍である管理不適正な空家等の指導にも着手することで、早期に改善が図られるよう努める。 ・所有者不存在の空き家は、指導等する相手が存在しないため、家庭裁判所へ相続財産管理人の申し立てを行い、改善に結びつける。 ・継続的に管理させるため、定期的な通知・連絡に努める。 <p>令和5年度から空家バンク事業を建築課に移管し、空家等対策のため制度見直しを行った。空き家の利活用・リフォームの推進に結びつける。</p>	
企画政策課の評価	評価理由
A	<ul style="list-style-type: none"> A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当 <p>市民の生活の向上と安心な住環境の実現に資する事業と認められる。積極的な事業展開により着実に成果を挙げていることから、引き続き、効果的な指導等により事業の推進を図っていただきたい。</p>

令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
5	8	1	1	環境保全	ごみ処理の推進
実施計画事業名					
ごみ排出適正化事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
4	02	01	02	ごみ排出適正化事業	
担当課・係等					
環境保全課 クリーン推進係					

実施計画整理番号	
508010101	
総合戦略 整理番号	

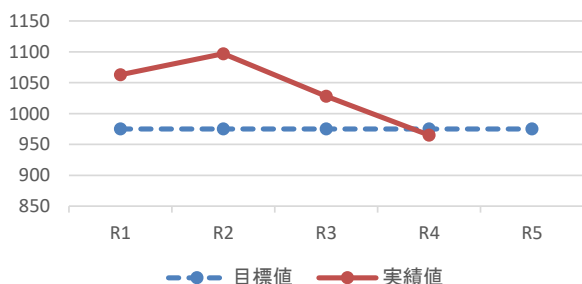
事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	不法投棄の未然防止と、不法投棄されたごみの早期適正処理を目標とする。	<ul style="list-style-type: none"> ・職員及び不法投棄監視員による随時パトロール ・ごみ集積所表示看板、不法投棄禁止看板の配付 ・千葉県環境衛生促進協議会への参加
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	職員及び不法投棄監視員による市内パトロールの実施、自治会等に「ごみ集積所表示看板」「不法投棄禁止看板」等の配付を行い不法投棄の未然防止を図り、施策「ごみ処理の推進」に寄与する。	

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	2,168	2,168	1,977	2,257	2,432	2,153			
	国補助	千円									
	県補助	千円	444	444	444	444	444	444			
	市債	千円									
	その他	千円	9	12	12	9	11	11			
	一般財源	千円	1,715	1,712	1,521	1,804	1,977	1,698			
	人工数	人	2.9			3.4					
	人件費	千円	17,682			19,001					

手段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
不法投棄監視員によるパトロール及びごみ集積所表示看板、不法投棄禁止看板の配付を実施する。	パトロールの実施回数	回	975	維持します	維持します	維持します
		実績値	1097	1028	965	
	不法投棄禁止看板の配付数	枚	103	減少を目指します	減少を目指します	減少を目指します
		実績値	105	60	46	
成果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
不法投棄の未然防止と、不法投棄されたごみの早期適正処理を図る。	不法投棄監視員からの不法投棄報告件数	件	72	減少を目指します	減少を目指します	減少を目指します
		実績値	66	55	48	

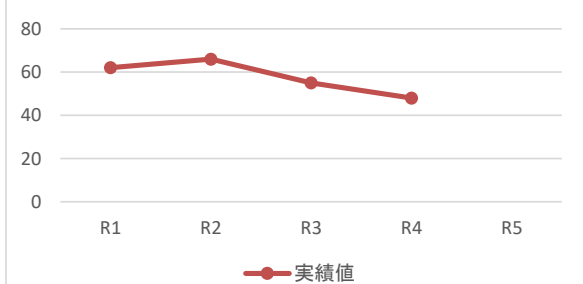
活動指標の動向

パトロールの実施回数



成果指標の動向

報告件数



令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
5	8	1	1	ごみ排出適正化事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
4	02	01	02	ごみ排出適正化事業

整理番号
508010101

課題抽出 (CHECK)

活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
<ul style="list-style-type: none"> 不法投棄監視員によるパトロールの実施回数 965回 (内、不法投棄監視員からの不法投棄報告件数 48件) 不法投棄禁止看板の配付数 46枚 		
必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
総合評価		
A: 十分な成果を挙げた(目標・目的を達成している)		
分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
<ul style="list-style-type: none"> 家電等の小規模な不法投棄は依然として散見されるものの減少傾向にあること、また大規模な不法投棄は発生していないことから一定の成果を挙げているものと考えている。 		

今後の方向性 (ACTION)

事業の方向性	改善・改革の手法
A: 計画どおり事業を進めることが適当	⑤更なる事業の推進
課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
<ul style="list-style-type: none"> 引き続き不法投棄監視員によるパトロールの実施及び排出方法の徹底により不法投棄の未然防止を図っていく。 「ごみ集積所表示看板」「不法投棄禁止看板」等を配付する。 ごみ収集カレンダーを各世帯に配布し排出方法の徹底に努める。 	
企画政策課の評価	評価理由
<p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当 	不法投棄の未然防止と不法投棄されたごみの早期適正処理に成果を挙げていると認められる。引き続き、関係機関と連携を図り、事業の推進に努めていただきたい。

令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
5	8	1	3	環境保全	ごみ処理の推進
実施計画事業名					
3R推進事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
4	02	01	03	3R推進事業	
担当課・係等					
環境保全課 クリーン推進係					

実施計画整理番号	
508010201	
総合戦略整理番号	

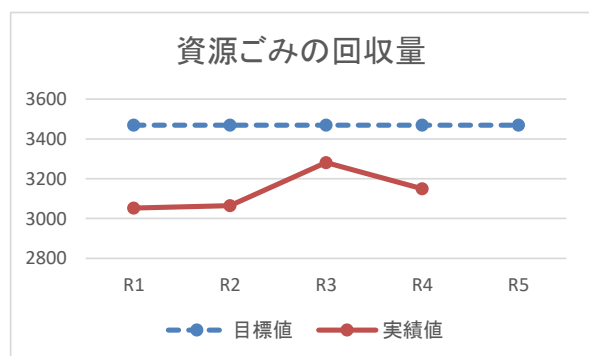
事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何をを行うか)
<p>3Rの推進により循環型社会の形成を目標とする。</p> <p>※3R…無駄なごみの発生を抑制する「リデュース(Reduce)」、使えるものは繰り返し使う「リユース(Reuse)」、ごみを資源として再利用する「リサイクル(Recycle)」の3つのRの総称で、リデュース、リユース、リサイクルの優先順位でごみの削減に努めるのが良いという考え方。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・リサイクル推進委員会への活動支援 ・生ごみ堆肥化容器の助成販売 ・生ごみ処理機の購入費補助 ・ごみ集積所の新設、修理、及びネット購入費補助
基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
循環型社会の形成を目標とし、3Rの推進及び生ごみの堆肥化容器の助成販売並びに生ごみ処理機の購入費補助を行うことにより、施策「ごみ処理の推進」に寄与する	

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	6,042	6,042	5,360	4,025	4,089	3,606			
	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円	283	283	290	283	283	261			
	一般財源	千円	5,759	5,759	5,070	3,742	3,806	3,345			
	人工数	人	3.1			2.4					
	人件費	千円	19,194			14,732					

手段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
リサイクル推進委員会への活動支援、生ごみの堆肥化容器の助成販売、生ごみ処理機の購入及びごみ集積所の整備に対する補助を行う。		目標値				
		実績値				
		目標値				
		実績値				
成果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
3Rの推進による循環型社会の形成	資源ごみの回収量	t	3,469	3,469	3,469	3,469
			3,065	3,281	3,149	

活動指標の動向

成果指標の動向



令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
5	8	1	3	3R推進事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
4	02	01	03	3R推進事業

整理番号
508010201

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・リサイクル推進委員会への助成 1,116千円 ・生ごみ堆肥化容器の助成販売数 99基 ・生ごみ処理機購入費補助件数 17基 ・ごみ集積所の新設、修理、及びネット購入費補助 983千円 		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	A: 必要性が高い	B: 有効性が認められる	B: 効率性が認められる
	総合評価		
A: 十分な成果を挙げた(目標・目的を達成している)			
分析・評価(活動してどのような課題があったか)			
<ul style="list-style-type: none"> ・スーパー等による民間のリサイクル回収ルートが普及したことなどにより、収集量が減少傾向にある。 ・広報紙や市公式ウェブサイト等で生ごみ堆肥化容器の助成販売、生ごみ処理機購入費補助金及びごみ集積所整備補助金の周知を図っているが、更なる普及啓発が必要である。 			

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性	改善・改革の手法
	B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要	⑤更なる事業の推進
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
	<ul style="list-style-type: none"> ・リサイクル推進委員会の補助、生ごみ処理機等の購入やごみ集積所整備に対する補助により、ごみ排出の抑制、ごみの減量化に一定の成果を挙げていることから、引き続き事業の推進を図る。 	
	企画政策課の評価	評価理由
B	<ul style="list-style-type: none"> A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当 	
<p>本事業は、循環型社会の形成に一定の成果を挙げていると認められる。引き続き、取組内容等の効果的な情報発信を実施し、市民等が環境負荷の軽減についての意識向上が図られるよう努めていただきたい。</p>		

令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
5	8	2	1	環境保全	生活環境の整備
実施計画事業名					
緑化推進事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
4	01	06	02	緑化推進事業	
担当課・係等					
環境保全課 クリーン推進係					

実施計画整理番号	
508020101	
総合戦略整理番号	

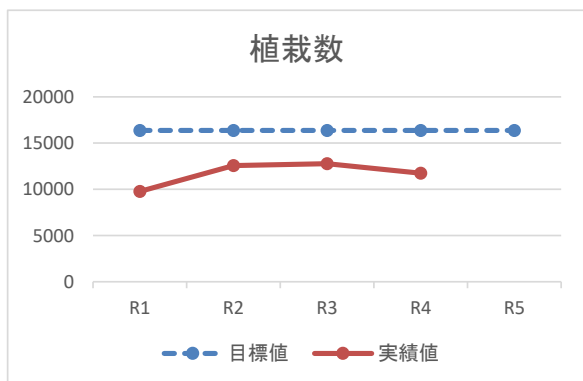
事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	<p>緑のある美しいまちづくりを進めるため、公共施設への緑や花の植栽に努めるとともに、自治会等に市の花コスモスの種子を配布するなど、全市的な「花いっぱい運動」を展開し普及を図ることを目標とする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 公共施設への緑や花の植栽 自治会等に市の花コスモスの種子を配布 花いっぱいコンクールの開催 花いっぱい運動推進協議会への助成
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	

自治会市民団体等へ市の花コスモスの種子の配布や、市内公共施設へ草花の植栽をすることで花いっぱい運動の普及を図ることで、施策「生活環境の整備」に寄与する。

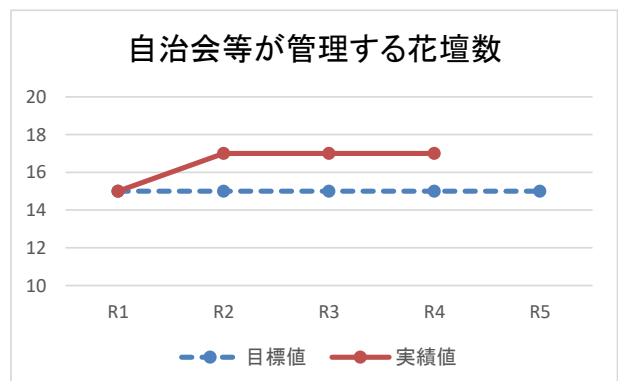
投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
	事業費	千円	2,140	2,140	2,032	2,032	2,065	1,918			
財源内訳	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	2,140	2,140	2,032	2,032	2,065	1,918			
人工数	人		1.7		1.8						
人件費	千円		7,661		10,779						

手段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
緑のある美しいまちづくりを進めるため公共施設への草花の植栽を行うとともに、自治会等にコスモスの種子を配布し、「花いっぱい運動」を展開する。	植栽数	苗	16,367	維持します	維持します	維持します
		実績値	12,558	12,770	11,733	
	配布数	〇	159	維持します	維持します	維持します
		実績値	160	160	160	
成果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
環境美化への市民意識の醸成を図る	自治会等が管理する花壇数	箇所	15	維持します	維持します	維持します
		実績値	17	17	17	

活動指標の動向



成果指標の動向



令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
5	8	2	1	緑化推進事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
4	01	06	02	緑化推進事業

整理番号
508020101

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設への草花の植栽 11,733苗 ・自治会等に市の花コスモスの種子を配布 160ℓ ・花いっぱいコンクールの開催 26件(個人9名 団体8団体 小学校7校 幼稚園・保育所2団体) ・花いっぱい運動推進協議会への助成 90千円 		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
	総合評価		
A: 十分な成果を挙げた(目標・目的を達成している)			
分析・評価(活動してどのような課題があったか)			
<ul style="list-style-type: none"> ・花いっぱい運動推進協議会主催の「花いっぱいコンクール」については、新型コロナウイルス感染症の影響により、秋のコンクールを中止した。 ・「花いっぱいコンクール」の新規参加者の増加を図る必要がある。 			

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性	改善・改革の手法
	A: 計画どおり事業を進めることが適当	③連携・協働の推進
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
	<ul style="list-style-type: none"> ・花いっぱい運動推進協議会会員による市民への周知、また広報紙等による「花いっぱいコンクール」の更なる啓発に取り組む必要がある。 	
	企画政策課の評価	評価理由
B	<ul style="list-style-type: none"> A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当 環境美化への市民意識の醸成に資する事業と認められる。一方で市域全体で意識の向上を図ることを目的とした取組、啓発方法を調査・研究いただきたい。	

令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
5	8	2	2	環境保全	生活環境の整備
実施計画事業名					
美化推進事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
4	01	06	01	美化推進事業	
担当課・係等					
環境保全課 クリーン推進係					

実施計画整理番号	
508020201	
総合戦略 整理番号	

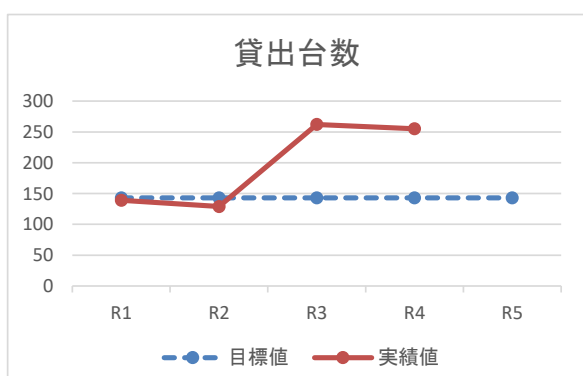
事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	きれいで住みよい環境づくりを進めるため、啓発活動を通して市民の協力のもと美化活動を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> 地域の環境美化活動の推進 空き地に係る雑草等の除去に関する条例に基づく指導 自治会への草刈機の貸し出し ポイ捨て防止条例に基づく啓発 広報紙、パンフレット等による啓発活動 ゴミゼロ運動の実施
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	

自治会や市民団体等による自主的な清掃活動を奨励し、ゴミゼロ運動などのイベントや広報紙などによる啓発の実施、空き地の雑草対策を図ることにより、施策「生活環境の整備」に寄与する。

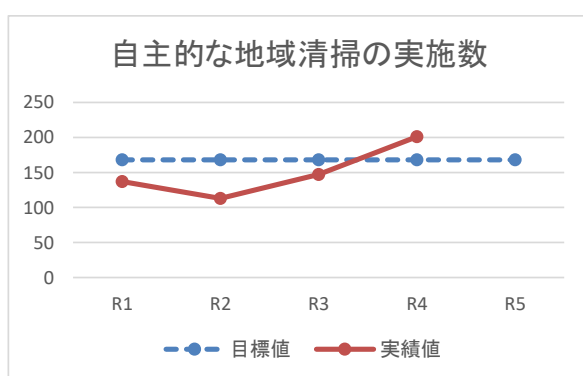
投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	942	942	360	929	931	339			
	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	942	942	360	929	931	339			
	人工数	人	3.1			2.8					
	人件費	千円	15,415			15,036					

手段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
自治会等に対し、草刈機の貸し出しを行う。	貸出台数	台	143	143	143	143
		実績値	129	262	255	
成果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
自治会や市民団体等による、自主的な美化活動を実施することできれいで住みよい環境づくりを進める。	自主的な地域清掃の実施数	回	169	169	169	169
		実績値	113	147	201	

活動指標の動向



成果指標の動向



令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
5	8	2	2	美化推進事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
4	01	06	01	美化推進事業

整理番号
508020201

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・草刈機貸し出し台数 255台 ・地域清掃等の実施数 201回 ・雑草等の除去に関する指導 299件(内217件対処済み:実施率72.6%) 		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
	総合評価		
A: 十分な成果を挙げた(目標・目的を達成している)			
分析・評価(活動してどのような課題があったか)			
<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍により、令和4年度『茂原市ゴミゼロ運動』を中止した。 ・空き地に係る雑草等の除去に関する指導を行っているが、未実施のところがある。 			

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性	改善・改革の手法
	A: 計画どおり事業を進めることが適当	③連携・協働の推進
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度以降のゴミゼロ運動は、市内統一キャンペーンとして実施しないが、自治会等で通年行われている環境美化活動を推進していく。 ・引き続き、空き地の土地所有者が適正に管理するように、雑草等の除去に関する指導を行う。 	
	企画政策課の評価	評価理由
A	<ul style="list-style-type: none"> A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当 	
きれいで住みよい環境づくりの推進に一定の成果を挙げていると認められる。引き続き、市民等の美化活動の意識醸成を図るとともに、空き地の土地所有者の適正管理について、積極的な指導に努めていただきたい。		